

第61期決算説明会

(2013/4/1～2014/3/31)



タカノ株式会社

2014年5月28日

**2014年3月期実績および
2015年3月期見込みについて**

代表取締役社長 鷹野 準

**2014年3月期決算（連結）
実績の内容について**

代表取締役社長 鷹野 準

●当社および連結子会社の概要について

会社名	沿革等	事業の内容
※当社 タカノ株式会社	昭和28年7月 ばね製造会社として設立 平成9年東証上場	・ オフィス家具、ユニット（ばね）製品、エクステリア製品、 画像処理検査装置、電磁アクチュエータ、健康福祉関連機器 の製造販売
※連結子会社 (株)ニッコー [その他]	昭和43年3月 グループ内の工具機械等の仕入を する商社機能として設立	・ 工具、器具、機械、エクステリア製品の仕入販売
※連結子会社 タカノ機械(株) [検査計測機器]	昭和54年9月 当社治工具・専用機の設計製造 部門を分離独立させ設立。	・ 省力化機械の製造販売 ・ 検査計測装置のメカ機械等の製作
※連結子会社 台湾鷹野股份有限公司 [検査計測機器]	平成17年2月 当社100%子会社として設立、 同年4月より営業を開始	・ 台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、ア フターサービス、販売活動
※連結子会社 TAKANO KOREA CO.,LTD. [検査計測機器]	平成18年5月 当社100%子会社として設立、 同年6月より営業を開始	・ 韓国におけるFPD向け画像処理検査装置の製造・販売、メン テナンス、アフターサービス
※連結子会社 上海鷹野商貿有限公司 [住生活関連機器]	平成22年2月 当社100%子会社として設立 平成25年12月 資本金を50万米ドルに増資	・ オフィス家具他、各種製品の仕入販売 (当社各部門の中国市場向けの製品の販売活動等、中国から の部材仕入れ活動等を行う目的で設立)
※連結子会社 香港鷹野國際有限公司 [産業機器]	平成23年8月 当社100%子会社として設立(登記) 平成24年4月(営業本格開始)	・ 産業機器(電磁アクチュエータ)製品、検査計測機器製品お よびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)

●2014年3月期連結決算実績 (対前期比)

	2014年3月 (百万円)	2013年3月 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	15,503	16,497	94.0%
営業損益	△219	60	—%
経常損益	△99	259	—%
当期純損益	△218	171	—%

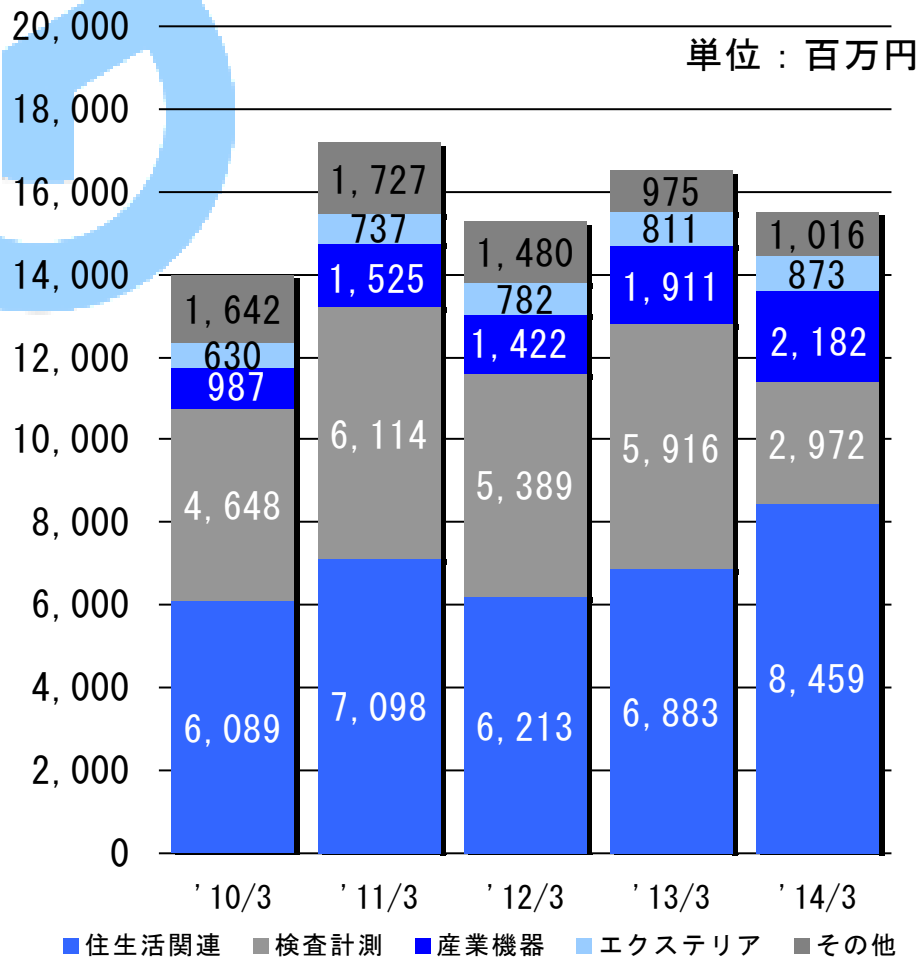
●2014年3月期連結決算実績 (対予想比)

	2014年3月実績 (百万円)	2014年3月予想 (百万円)	計画比 (%)
売上高	15,503	15,430	100.5%
営業損益	△219	△150	—%
経常損益	△99	10	—%
当期純損益	△218	△70	—%

※計画値は、平成25年5月10日に開示しました業績予想値を採用しております。

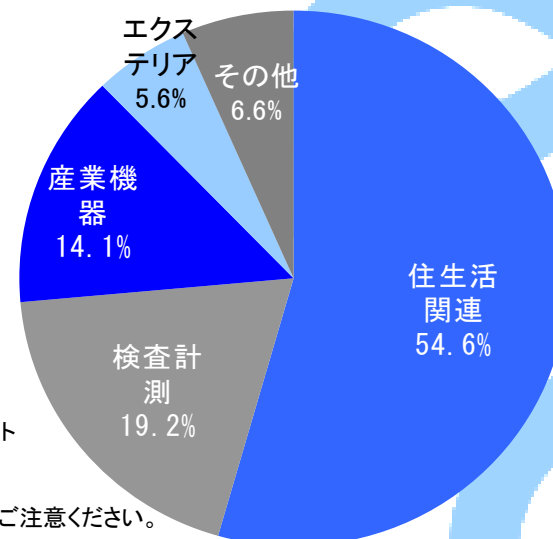
●セグメント別売上高の推移

セグメント別売上高の推移



	2014/3 (百万円)	2013/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	8,459	6,883	122.9%
検査計測	2,972	5,916	50.2%
産業機器	2,182	1,911	114.2%
エクステリア	873	811	107.7%
その他	1,016	975	104.1%
合計	15,503	16,497	94.0%

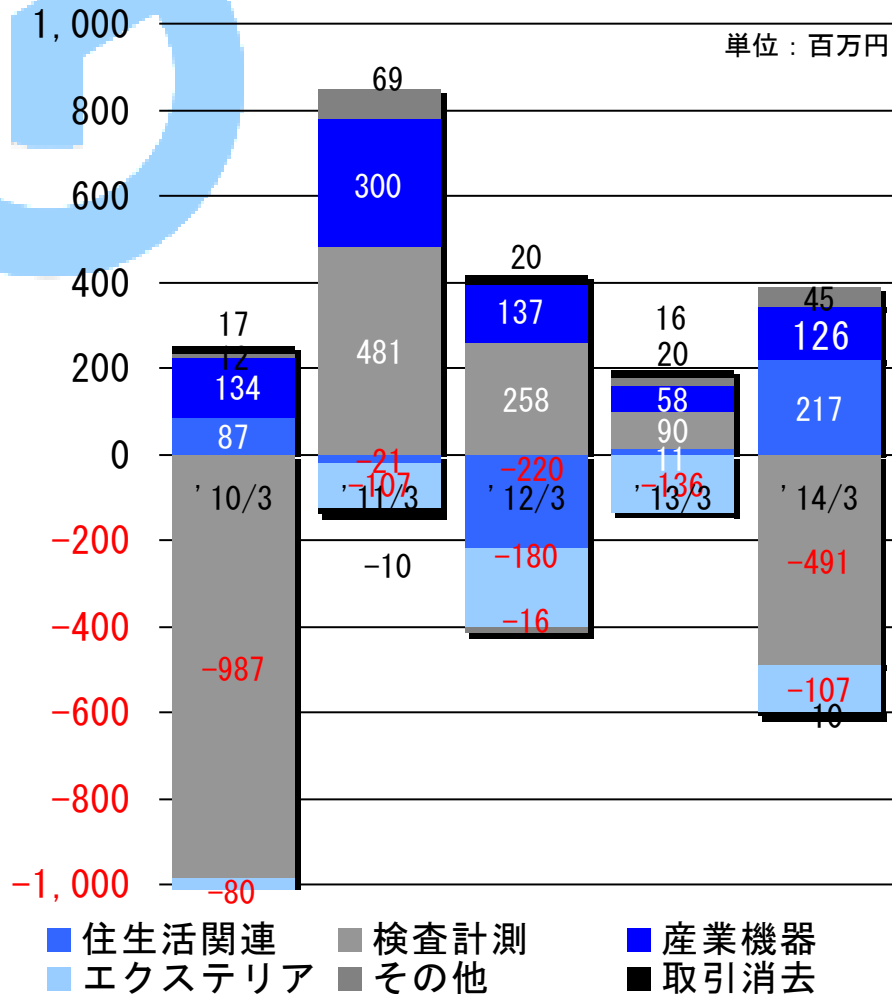
2014/3連結売上高構成比



※2014年3月期から組織移動に伴う管理体制の変更により前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれていたユニット（ばね）製品の製造販売を「産業機器」に統合させる区分の変更を行っております。これにより、比較可能とさせるため、2013年3月期のセグメント情報につきましては、会社組織変更後の区分に組み替えを行い、表示しております。よって、2010年3月期から2012年3月期までと、2013年3月期から2014年3月期まででは表示上の不連続が生じておりますので、ご注意ください。

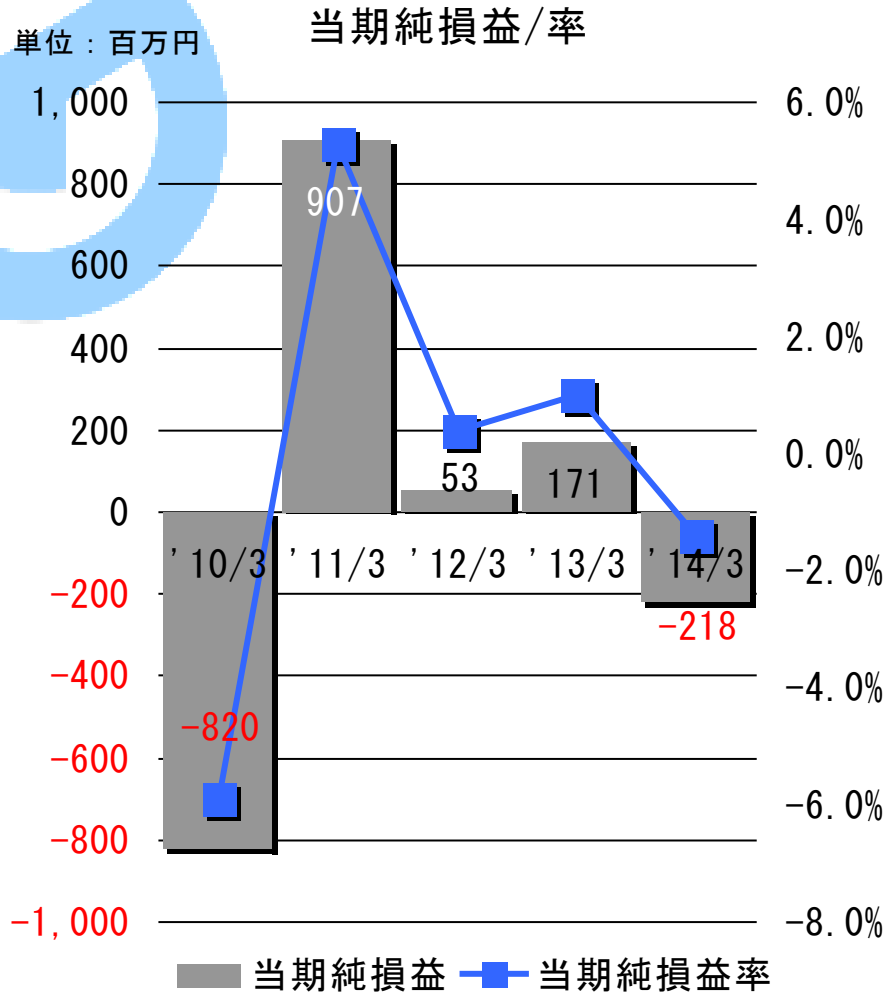
●セグメント利益の推移

セグメント利益の推移



	2014/3 (百万円)	2013/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	217	11	1,873.7%
検査計測	△491	90	—%
産業機器	126	58	216.9%
エクステリア	△107	△136	—%
その他	45	20	226.0%
取引消去	△10	16	—%
合計	△219	60	—%

●当期純損益の推移 (連結)

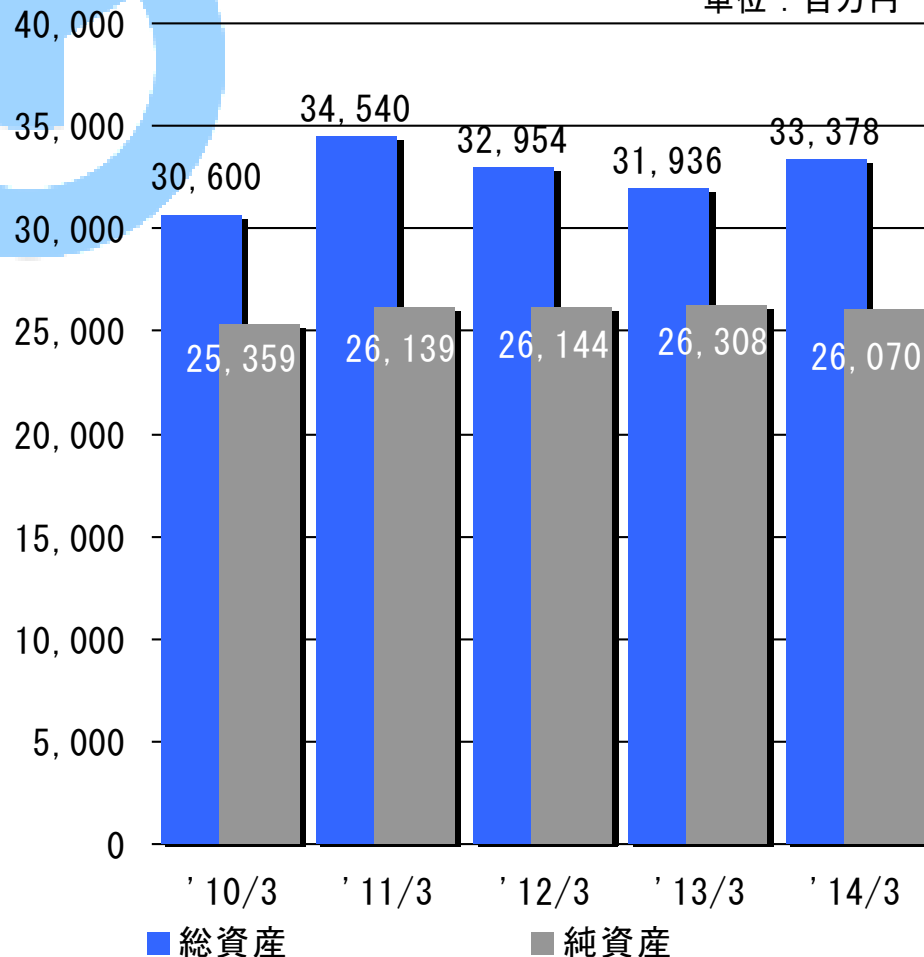


○2014年3月期の1株当たり純損失
14円41銭

●総資産・純資産の推移(連結)

総資産/純資産

単位：百万円



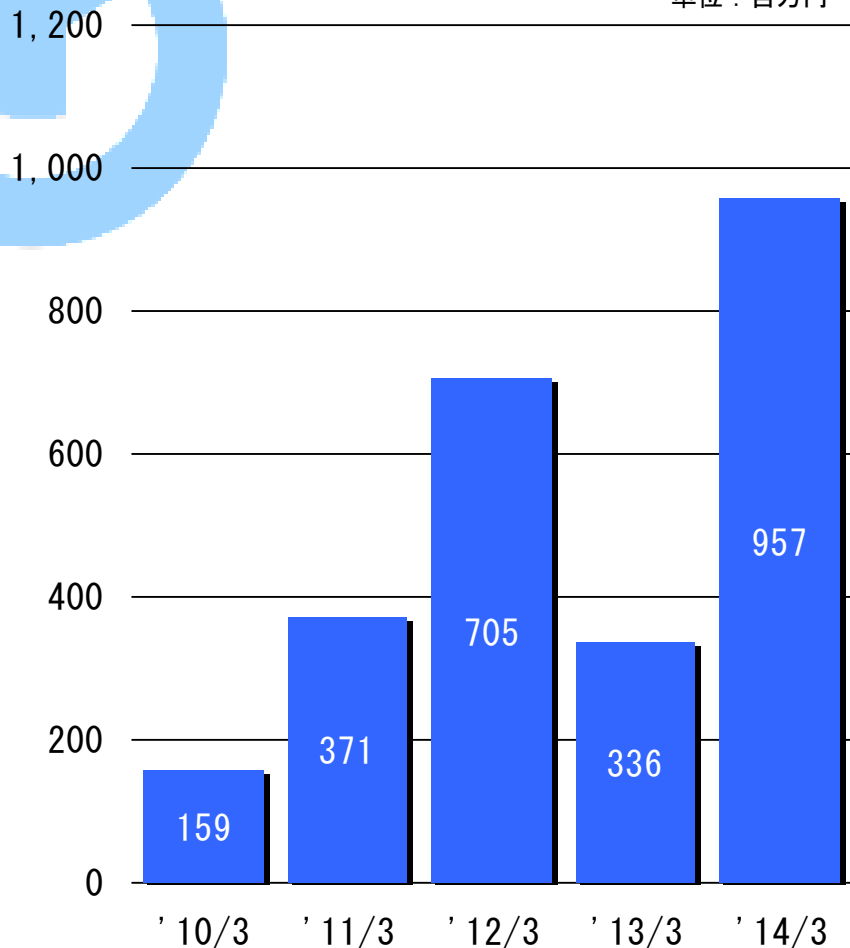
○2014年3月期の自己資本比率 78.1%

○2014年3月期の自己資本利益率 $\Delta 0.8\%$ ○2014年3月期末の1株当たり純資産
1,715円61銭

● 主な設備投資内容・設備投資額推移

設備投資額推移

単位：百万円



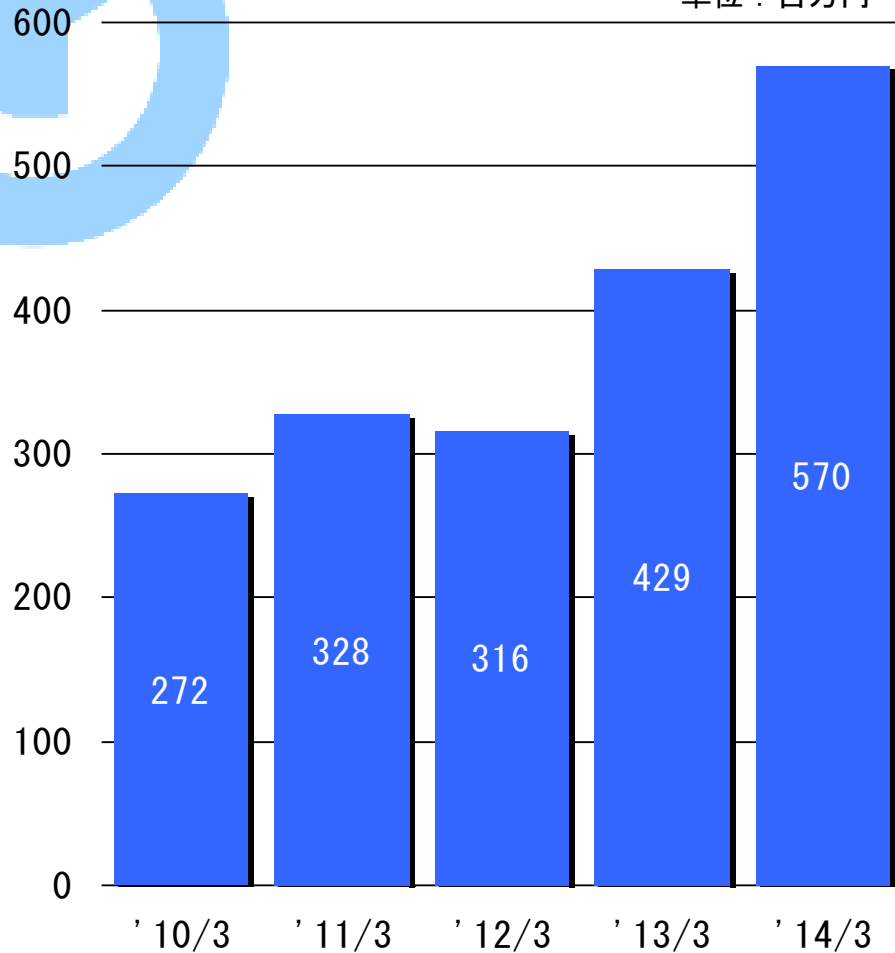
※設備投資額は有形+無形固定資産の設備投資に係るものであります。

	2014/3 (百万円)	2013/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	663	166	397.7%
検査計測	100	72	137.7%
産業機器	187	93	201.7%
エクステリア	4	4	117.7%
その他	10	-	-%
調整額	△8	△0	-%
合計	957	336	284.7%

● 主な研究開発内容・研究開発費推移

研究開発費推移

単位：百万円



	2014/3 (百万円)	2013/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	86	132	65.3%
検査計測	356	217	164.0%
産業機器	69	55	126.8%
エクステリア	9	9	99.6%
基礎研究(区分不能)	48	15	316.8%
合計	570	429	132.9%

●2014年3月期連結キャッシュフロー計算書

	2014年3月 (百万円)	2013年3月 (百万円)	前年比増減 (百万円)	備考
営業活動によるCF	△506	2,333	△2,840	
投資活動によるCF	△1,978	45	△2,024	
財務活動によるCF	△265	△25	△239	
現金等換算差額	57	56	1	
現金等の増減額	△2,693	2,410	△5,103	
現金等期首残高	11,665	9,255	2,410	
現金等期末残高	8,972	11,665	△2,693	

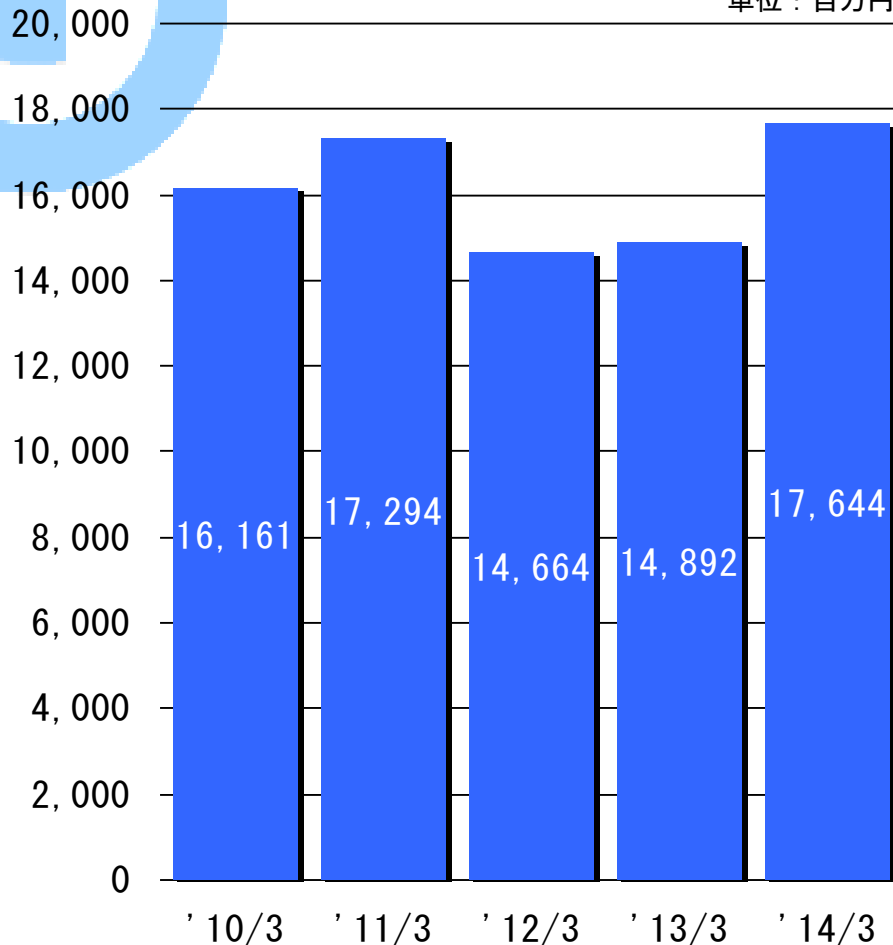
●受注高・受注残高の状況

■検査計測機器事業の受注残高

2014年3月末 4,681百万円(前期末比80.9%増)

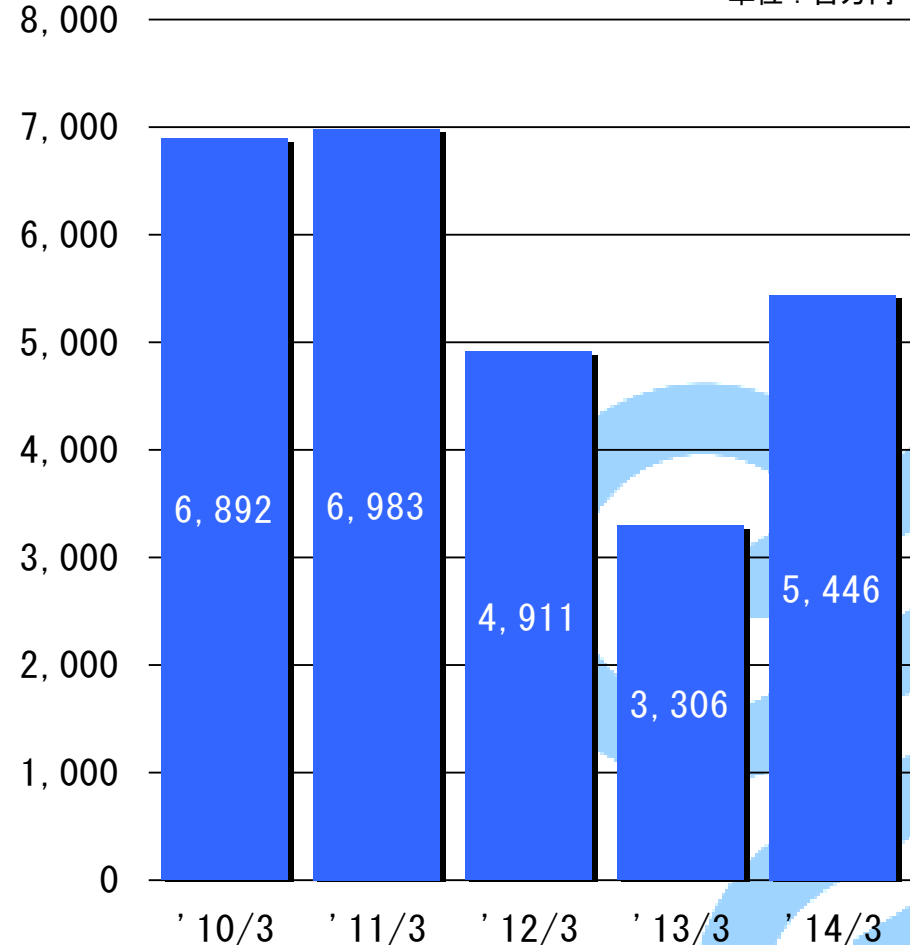
受注高の推移

単位：百万円



期末受注残高推移

単位：百万円



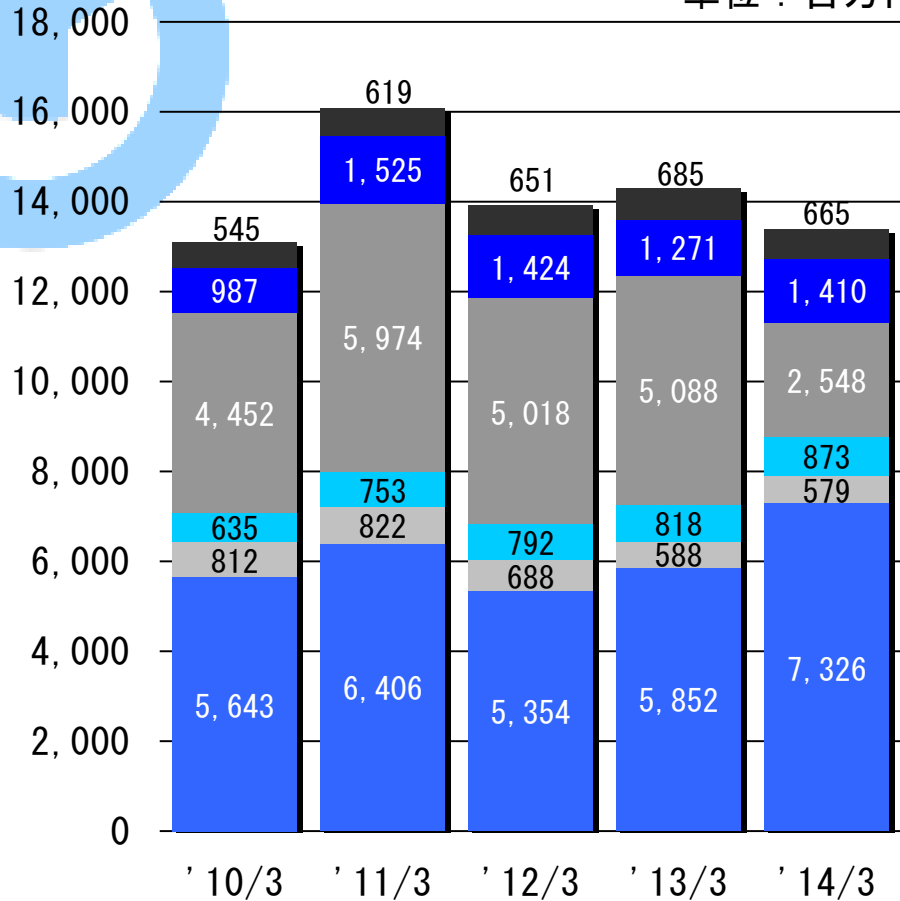
**2014年3月期決算（単独）
部門別売上高実績の内容について**

代表取締役社長 鷹野 準

●部門別売上高(単独)の推移

部門別売上高推移

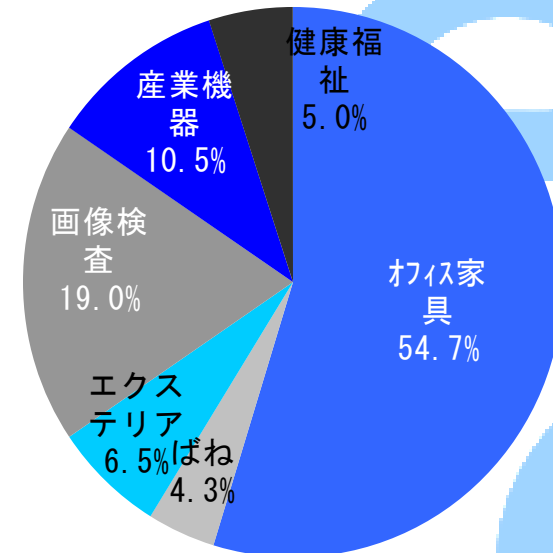
単位：百万円



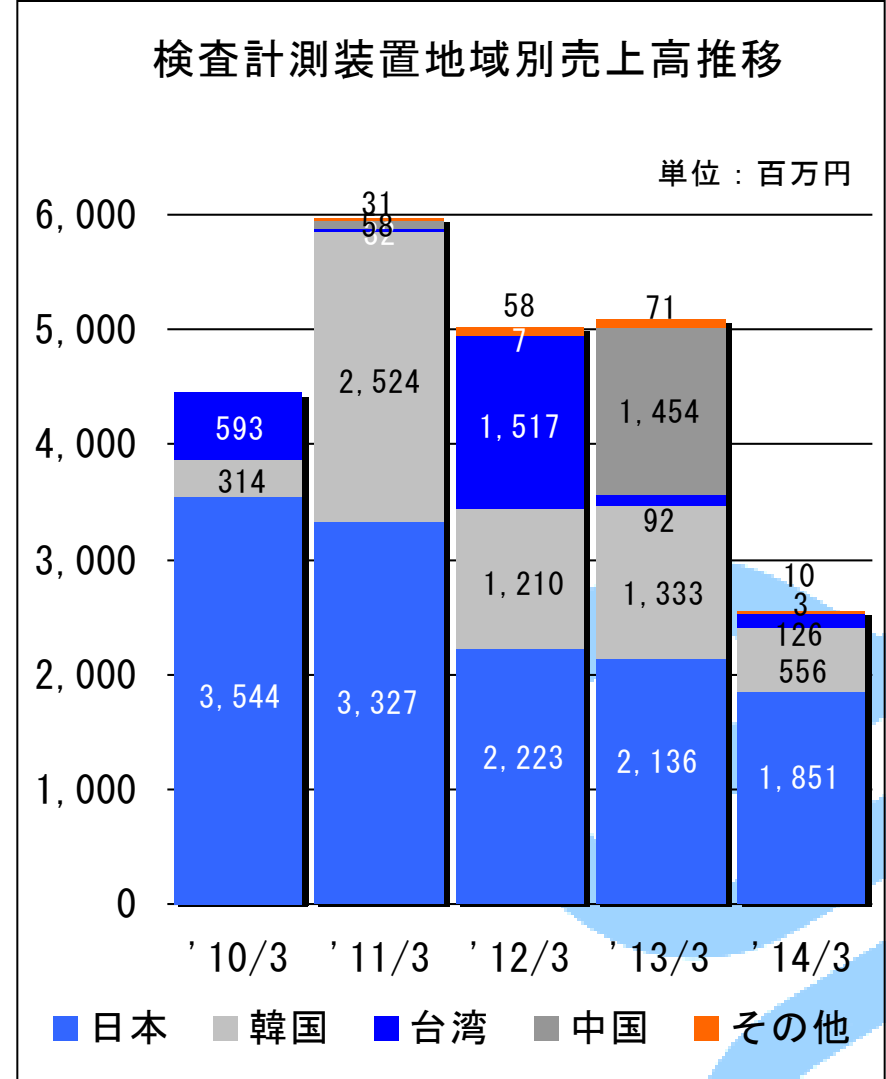
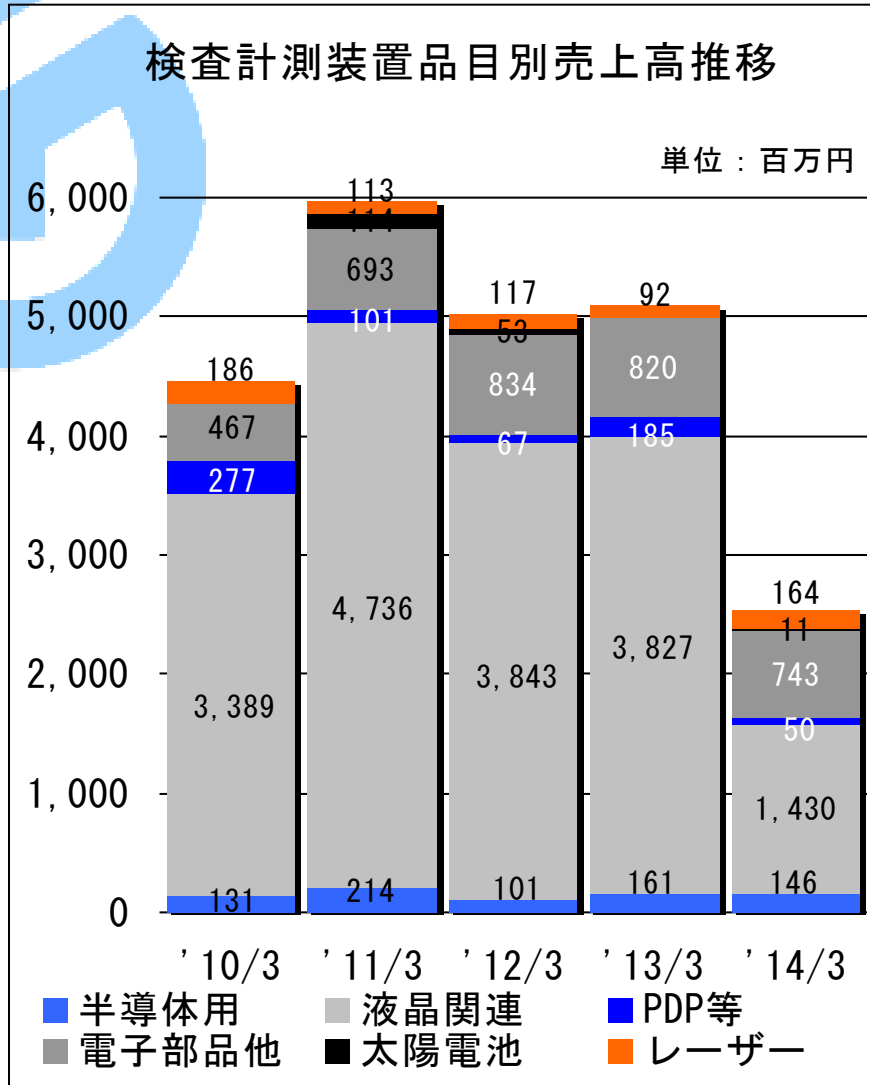
■ オフィス家具 ■ ばね ■ エクステリア
■ 画像検査 ■ 産業機器 ■ 健康福祉

	2014/3 (百万円)	2013/3 (百万円)	前年 同期比
オフィス家具	7,326	5,852	125.2%
ばね	579	588	98.4%
エクステリア	873	818	106.7%
画像検査	2,548	5,088	50.1%
産業機器	1,410	1,271	111.0%
健康福祉	665	685	97.0%

2014/3売上構成比



●検査計測装置売上高の推移



2015年3月期決算（連結）の見通しについて

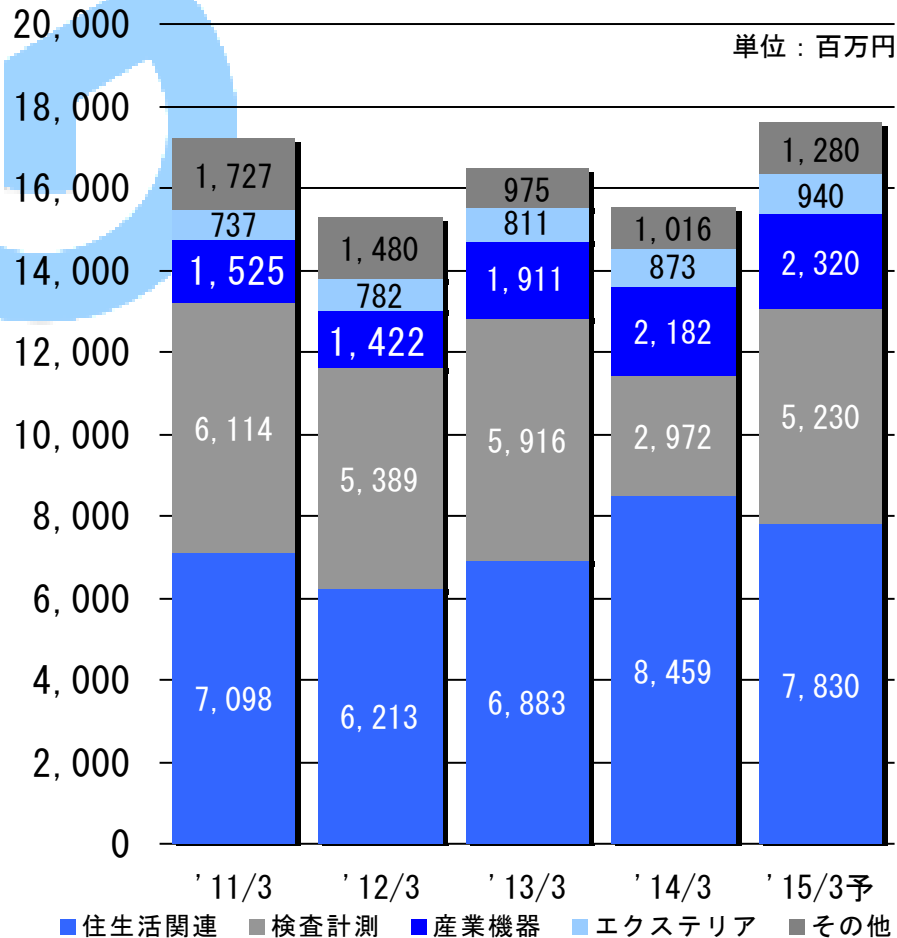
代表取締役社長 鷹野 準

●2015年3月期決算（連結）見通し

	2015年3月予想 (百万円)	前年同期比 (%)	2014年3月実績 (百万円)
売上高	17,600	113.5	15,503
営業損益	400	—	△219
経常損益	470	—	△99
当期純損益	400	—	△218

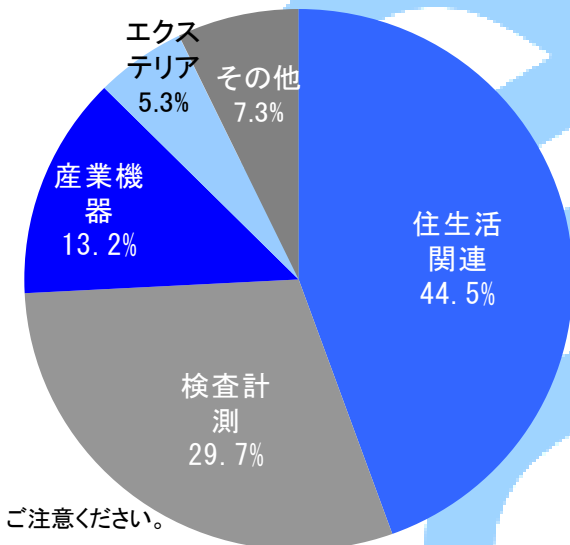
● (ご参考) 連結セグメント別売上高の見通し

セグメント別売上高推移+予想



	2015/3予 (百万円)	2014/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	7,830	8,459	92.6%
検査計測	5,230	2,972	175.9%
産業機器	2,320	2,182	106.3%
エクステリア	940	873	107.6%
その他	1,280	1,016	126.0%
合計	17,600	15,503	113.5%

2015/3連結売上高構成比見通し



※2014年3月期から組織移動に伴う管理体制の変更により前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれていたユニット(ばね)製品の製造販売を「産業機器」に統合させる区分の変更を行っております。これにより、比較可能とさせるため、2013年3月期のセグメント情報につきましては、会社組織変更後の区分に組み替えを行い、表示しております。よって、2011年3月期から2012年3月期までと、2013年3月期から2015年3月期予想まででは表示上の不連続が生じておりますので、ご注意ください。

※この資料に記載されている業績予想等の将来に関する予測は、当社経営陣が現時点で入手可能な情報に基づき、判断したものであります。将来に関する予想には様々な潜在的风险や不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。